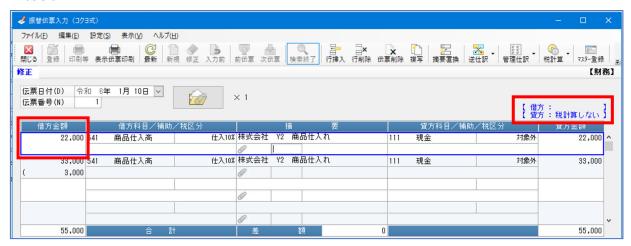
修復口グ参照・修正の操作手順

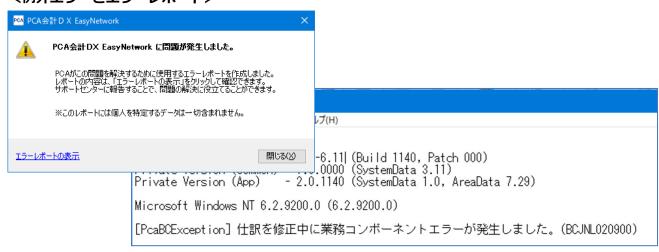
【現象】

- クイック仕訳転送の明細入力画面にて行挿入を行い、挿入した明細行に仕訳を入力するときに、先に 税区分を入力し、後から金額・科目などの他の入力項目を入力すると、消費税自動計算モードが不正 (指定なし)となります。
- 振替伝票入力画面にて該当明細行の消費税欄を修正し、登録を行うと例外エラーが発生します。

<現象例>

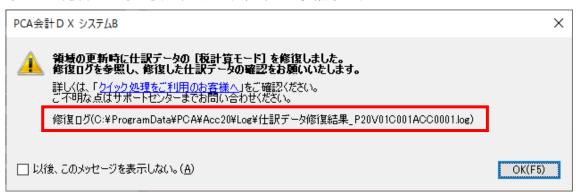


<例外エラーとエラーレポート>



【修復ログ参照・修正の操作手順】

① プログラムのアップデートを行い、データ領域の更新実行後、修復した旨のメッセージが表示されましたら、記載されているフォルダ・ファイルを参照します。

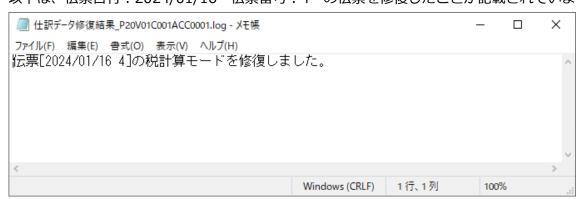


メッセージ内に上記のように記載されますので、C ドライブのフォルダ「ProgramData」-「PCA」 - 「Acc20」-「Log」内の「仕訳データ修復結果_P20V01C001ACC0001.log」ファイルを参照します。



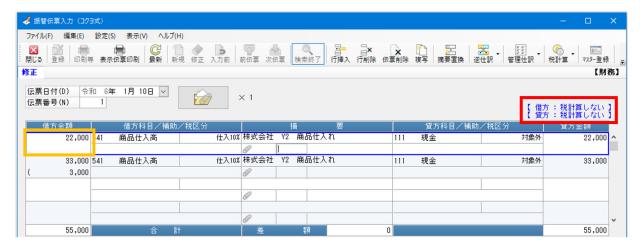
② 「仕訳データ修復結果_P20V01C001ACC0001.log」ファイルを開き、修復された伝票日付・伝票番号を確認し、該当伝票を控えます。

以下は、伝票日付:2024/01/16 伝票番号:4 の伝票を修復したことが記載されています。

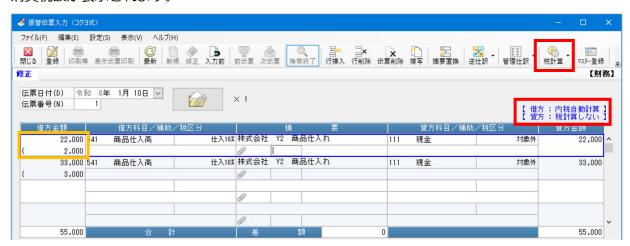


③ 会計ソフトを起動し、修復された伝票を確認のうえ正しい内容に修正してください。

<修復例>



借方金額の消費税額は、[借方税計算] を [税計算しない] から [内税自動計算] に変更することで、 消費税額が表示されます。



以上で操作は終了です。